

新島の火山活動解説資料（平成 23 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

式根（丹後山の西南西約 4 km）に設置してある遠望カメラでは、丹後山山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3、図 4 ※）

新島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

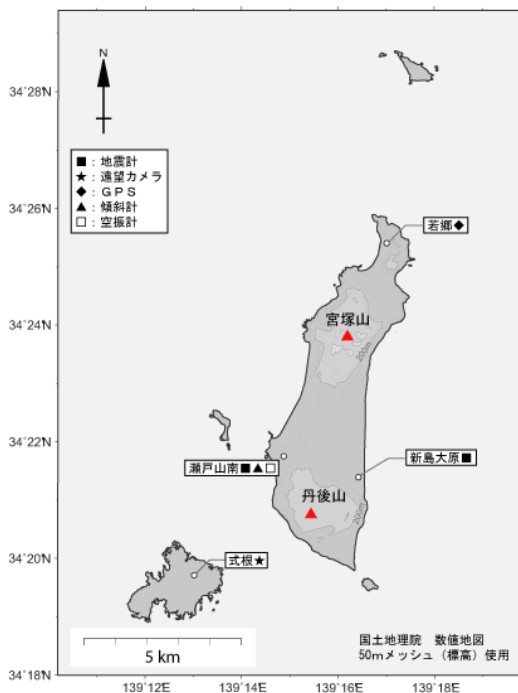


図 1 新島 気象庁の観測点配置図
(小さな白丸は観測点位置を示しています)



図 2 新島 丹後山山頂部の状況
(12 月 20 日、式根遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 1 月分）は平成 24 年 2 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

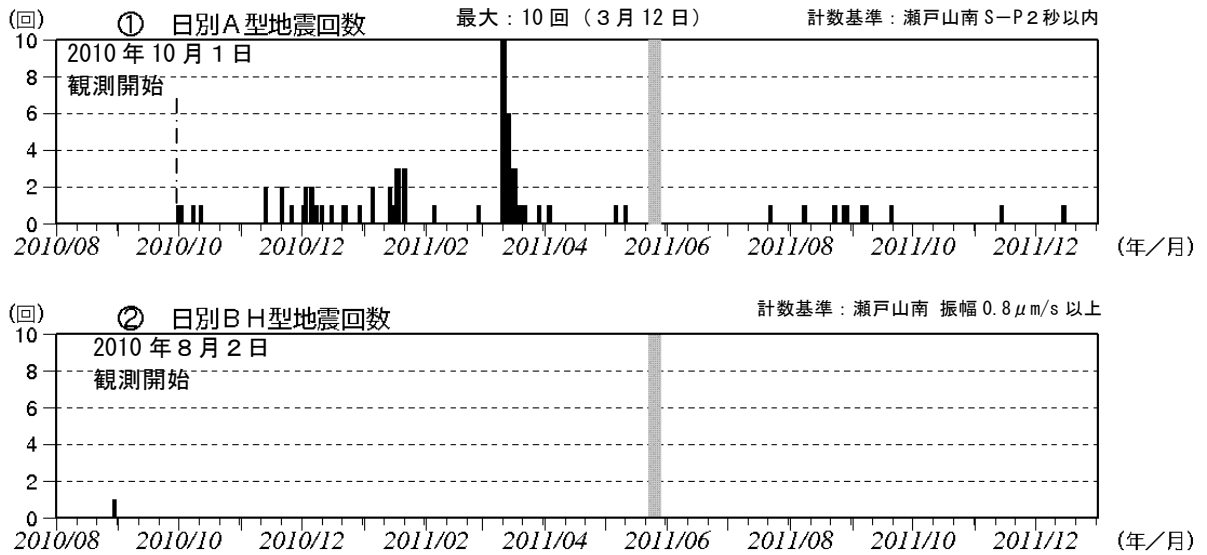


図3 新島 日別地震回数(2010年8月~2011年12月)
3月~5月分は一部未処理の期間があります。
図の灰色部分は機器障害のため欠測。

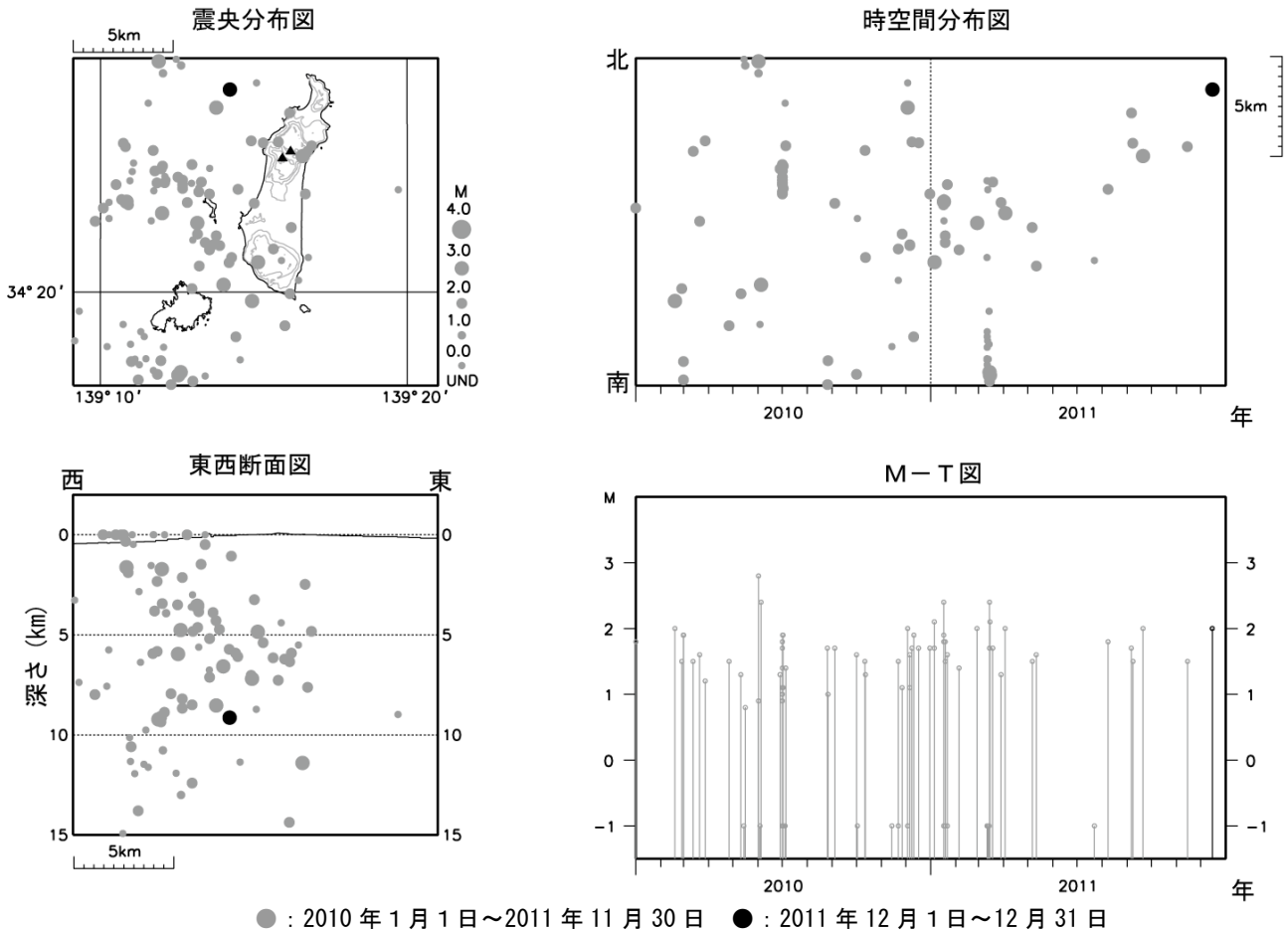


図4※ 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2010年1月1日~2011年12月31日)
M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
3月~5月分は一部未処理の期間があります。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。